

「ヨーロッパ・ビア・フェスティバル」開催

ドイツ食品普及協会

ドイツ食品普及協会を運営するエルフェン(森本智子代表)とビーエルジャパ



本未輸入ブランドを含むドイツ、オーストリア、オランダなどヨーロッパのビールメーカー、インポ

ーター13社30銘柄が出展し人気を集めた。

日本未輸入の「ヴァルトハウス醸造所」は1833年に創業。「ディプロム・ピルス」はナチュラルホップ、シュヴァルツヴァルト南部の五つの源泉から採取したクリアな軟水を使用。ドイツ農業協会DLGで唯一、9年連続金賞受賞の繊細で軽い苦味。「ボリス・クール」は独カールスバーク・グループ子会社が生産するビールベースのRT

D。レモンジンジャーやモヒートなど「COOL」な味とデザイン。

9月から日本で発売開始した「プリムス」(ベルギー)はユーラシア・トレーディング社が正規代理するピルスナータイプのラガービール。330ミリ缶(250円)、500ミリ缶(320円)ほか、PET素材で環境に優しく省スペースの「キーケグ」30リットルも揃える。「ベルギーでは3位の有力銘柄。日本のビールに

近い、飲みやすく軽い味わい。人気のベルギービールなかでエントリーレベルとして提案していく(レナート・ボーレン社長「写真右」という。

またワイニンググラスの名門シュピゲラウ社が新たに開発したビール用グラスを紹介。飲み口がワイニンググラス並みに薄く、ビールの旨み・香りをよりダイレクトに感じられる専用グラスで「最高の一口を」とアピールしていた。